



静岡県のブナに遺伝的な地域差がありました

広葉樹の植栽

森の力の回復

問題点

地域の固有性破壊（遺伝子攪乱）

環境不適合による生育不良

土壌流出や

林地崩壊の防止



遺伝的な地域差を把握した上で、種苗を移動させても良い範囲を決める必要があります。



ブナ

北海道から鹿児島県まで分布

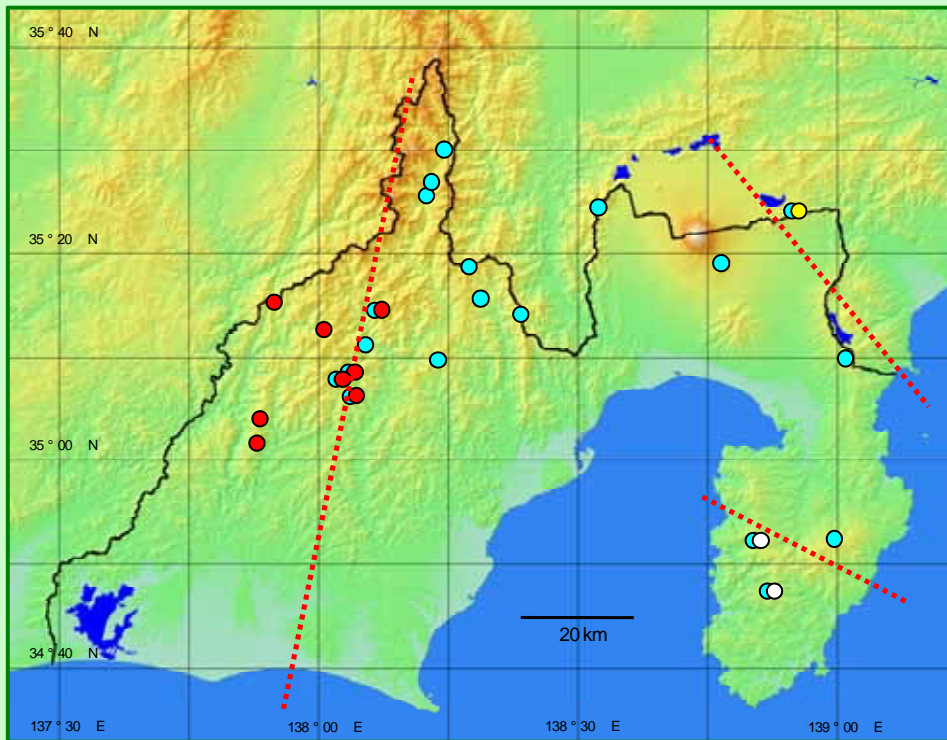
水源涵養のため、重要な広葉樹

森林・林業研究センターでは、県内のブナについて遺伝子のタイプを調査しました。

裏面には、詳しい試験研究結果があります。



ブナの葉緑体DNAを解析しタイプ分けしました。



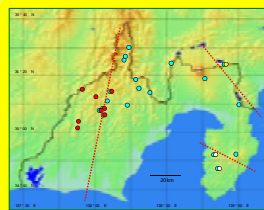
- Dタイプ：西部
 - Eタイプ：中部から東部、伊豆
 - Fタイプ：静岡県と山梨県との県境域
 - Nタイプ：伊豆半島南西部
- 破線：タイプ間の境界域（推定）

地図は杉本智彦氏によるソフトウェア「カシミール3D」を用いて作成した。

静岡県内のブナには4つのタイプがあり、遺伝的な地域差がありました

成果の活用事例

地域の環境に適した種苗の供給に役立ちます。



遺伝的地域差についての情報

全国的な種苗配布区域の決定に活用されます。



地域の環境に適した種苗の植栽に役立ちます。

